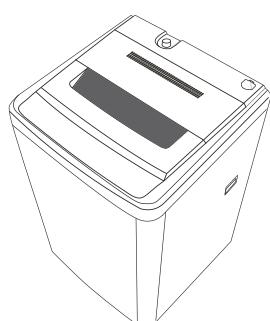
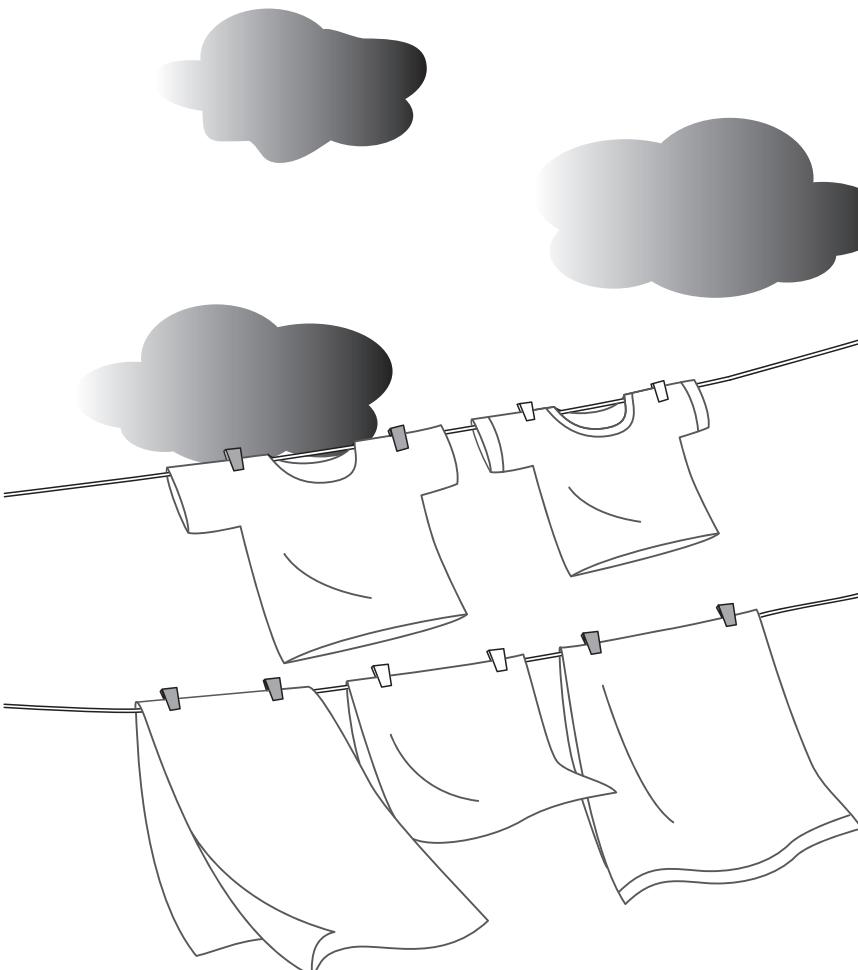


# LIMLIGHT

## 全自动電気洗濯機（家庭用）

品番：RHT-045W



このたびは、全自动電気洗濯機をお買い上げいただき、  
まことにありがとうございました。  
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。  
保証書は必ず記入事項を確かめて、販売店からお受け取りの  
うえ、この説明書とともに大切に保管してください。

### ご使用の前に

### 使いかた

### 必要なとき

## もくじ

安全上のご注意 必ずお守りください	2
各部のなまえ / 付属品	4
上ぶたロック / チャイルドロック	4
操作パネル部のはたらき	5
洗濯の前に	6
各コースの洗濯時間	8
環境に配慮した使いかた	8
洗剤類の使いかた	9
【使用量 / 粉石けん / 洗剤・漂白剤 / ソフト仕上剤 / のりづけ】	
おまかせ洗濯 [標準] [羊毛] [強洗]	11
自分流の運転内容を記憶させる [自分流]	12
毛布などの大物の洗濯 [毛布]	13
予約運転をする	14
運転内容をお好みで変更する【脱水のみなど】	15
こんなとき	16
■ 凍結の恐れがある ■ 洗濯液を2度使いたい ■ 風呂の残り湯を使いたい ■ 自動設定水量を調節したい ■ 終了ブザー音を消したい ■ 運転途中で変更したい	
お手入れ	17
■ 本体 ■ 給水口 ■ 洗濯・脱水槽 ■ 洗剤投入トレイ ■ 糸くずフィルター	
据え付け	18
こんな表示がでたら 修理を依頼する前に(初期化)	24
故障かな?	25
保証とアフターサービス	27
消費生活用製品安全法・安全表示制度に基づく 本体表示について	27
仕様	27

上手に使って上手に節電

## 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

**警告** 死亡や重傷を負うことが想定される内容です。

**注意** 傷害や物的損害の発生が想定される内容です。

■お守りいただく内容を次の表示で区分し、説明しています。

**禁止** してはいけない「禁止」内容です。

**強制** 必ず実行していただく「強制」内容です。

※お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

### 洗濯・脱水槽



幼児には洗濯・脱水槽をのぞかせない  
本体の近くに台などを置かない  
幼児は洗濯を遊ぶことができないということを監督の上で保証する

(洗濯・脱水槽内に落ちる、けがの原因)

回転中の洗濯・脱水槽内に手などを入れない  
完全に止まるまでは、絶対に触らないでください。  
(けがの原因) 特にお子さまにはご注意ください



### 引火物を入れない

灯油、ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールやそれらの付着した洗濯物を入れたり、近付けたりしないでください。  
(爆発・火災の原因)



### 本体



操作部付近に磁石など磁気を帯びたものを近付けない  
(上ふたが開いた状態でも洗濯・脱水槽が回転する恐れ)



動かない・煙が出た・変な臭いや音がするなどの異常を感じたら、電源プラグをコンセントから抜き、すぐ販売店に点検・修理を依頼する

(感電・漏電・ショートによる火災の原因)

排水ホースの付け換え時には、必ず手袋をする  
(けがの原因)

## !**注意**

### 据え付け

**直射日光** のあたる場所には置かない  
(プラスチック部品の色や形が変わる原因)

冬期に凍結の恐れのある場所には置かない  
→P16

上にのぼったり、物を置かない  
(けがや感電の原因)



さび・砂鉄の含まれる水は使わない  
(井戸水・さびた給水管などの使用は)  
水もれ・故障の原因

### 電源コード

**!** コードを抜くときは、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

(感電・ショートして発火する原因)  
長期間使わないときは必ず、電源プラグをコンセントから抜く

(絶縁劣化による感電・漏電火災の原因)



万が一、電源コードにダメージが発生した場合、製造元・アフターサービス会社、或いは専門の技術を持った方に修理を依頼して下さい。

### 確認すること

**!** 運転前は水栓を開き、水もれがないか確認する  
(水もれの原因)

→P19

運転終了後は、必ず水栓を閉じる  
(水もれの原因)

### 運転中

**!** 運転中、本体の下に手足を入れない  
(けがの原因)

50°C以上のお湯は使わない  
(感電・漏電の原因)



# 警 告

## 電源プラグ・コード



- コードや電源プラグが傷んでいるときや、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない  
(感電・ショート・発火の原因)
- 傷付け・加工・破損・無理な曲げ・たばねる・引っ張る・ねじる・重いものをのせる・はさみ込むなどしない  
(破損して、火災・感電の原因)
- ぬれた手で抜き差ししない  
(感電の原因)



- 定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使う  
電源プラグは根元まで確実に差し込む  
(火災・感電の原因)
- 定期的に電源プラグのほこりなどを  
よく拭き取る  
(ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因)
- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く  
(感電・けがをする原因)
- アースを取り付ける  
(故障や漏電のときに感電する原因)  
必ず電気工事店や販売店に依頼してください。  
工事費は本体価格には含まれません。



## 上ぶた



- ロックしている上ぶたを無理に開けない  
(上ぶた・ロック機構の破損、けがの原因)
- 上ぶたの折れ曲がり近くに手を置いたまま、上ぶたを開閉しない  
(手や指をはさみ、けがの原因)

## その他



- お手入れなどで水をかけたり、浴室や  
風雨にさらされる場所に置かない  
(感電・火災・故障の原因)



- 絶対に分解・修理・改造はしない  
(火災・感電・けが・水もれの原因)  
修理はお買い上げの販売店にお問い合わせください。こんな表示がでたら ➡ P24

## 火気を近付けない

ローソク、タバコ、蚊取り線香など  
(火災・変形の原因)

ライター・火気のあるものをポケットなどに入れて一緒に洗濯しない  
(火災・変形の原因)

## 洗濯物



- 防水性のマット・シートや衣類、足ふきマットなどの固くて厚いもの、水を通しにくい繊維製品は、洗い・すぎ・脱水をしない  
(洗濯物が飛び出したり、異常振動によるけが、本体・かべ・床などの破損、衣類の損傷、水もれ被害などの恐れ)

足ふきマットなど固くて厚いもの  
オムツカバー・雨ガッパ・カーペット  
ウインドブレーカー・サウナスツ  
ウェットスーツ・スキーウェア  
自動車などのカバー・寝袋  
その他、防水性の水を通しにくいもの

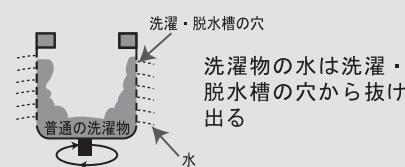


### ■防水性衣類の確認方法

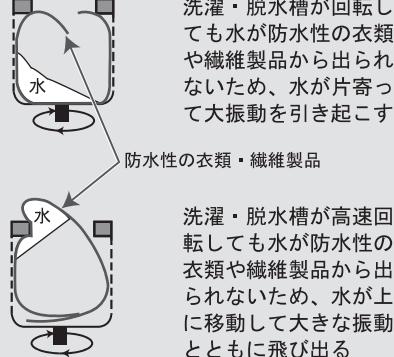
衣類に口を当て、息を吹き付けて息が通らない場合は、防水性衣類です。

## 脱水のご注意

### ■普通の洗濯物



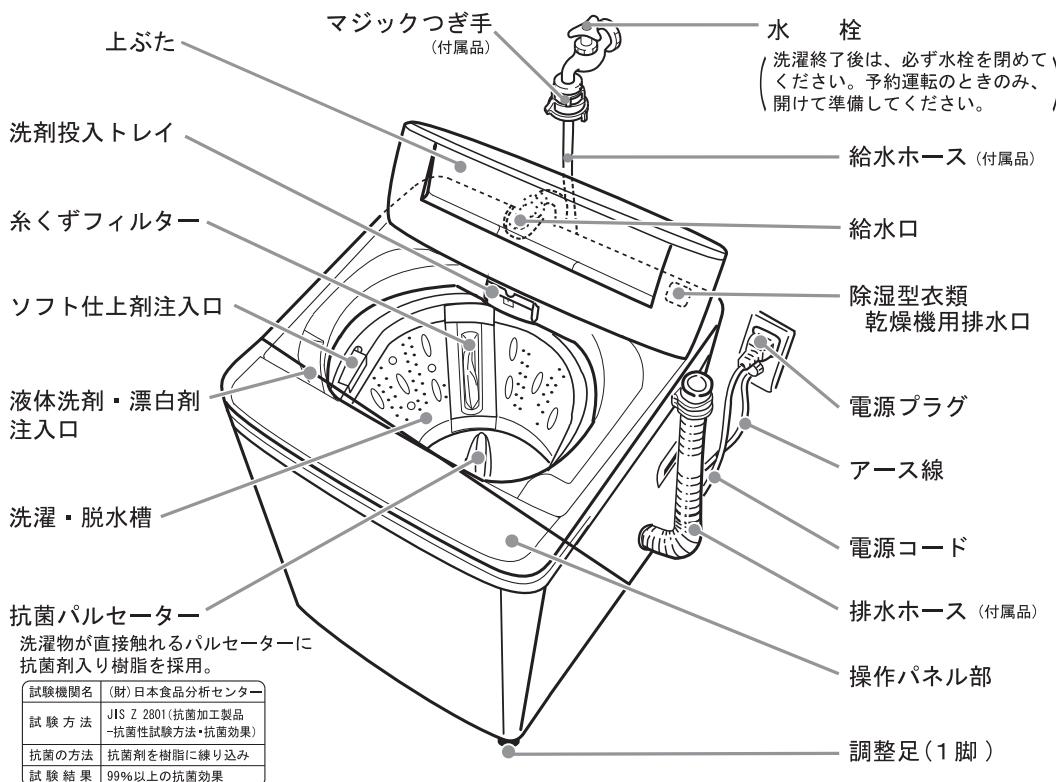
### ■防水性の衣類・繊維製品



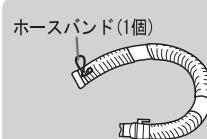
## お願い

■雷が発生したときは、早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。落雷により故障することがあります。

■上ぶたが破損したり、脱水中に上ぶたを開けたときに洗濯・脱水槽が回っている場合は、直ちに修理を依頼してください。けがの原因になります。



## 付属品



# 上ぶたロック / チャイルドロック

## 上ぶたロック

安全のため、洗い後の排水～運転終了まで、及び「チャイルドロック設定」時は、上ぶたがロックされます。

### ○…ふたロック中

- 点灯中  
上ぶたはロックされ  
開きません。
- 消灯中  
上ぶたを開けること  
ができます。

### ふたロック中に 上ぶたを開けたいとき

スタート  
一時停止 を押す

「ピピッ」と鳴り、●…ふたロック中 が  
消灯後、開けてください。

### 電源が入っていないとき

電源を「入」にして、●…ふたロック中 が  
消灯後、開けてください。

- 運転中に電源を切ったり、停電したとき  
は、ロックされたままになります。



ふたロックが解除するまで何も受け付けません。

## チャイルドロック

運転停止中に子供がふたを開けたり、  
洗濯・脱水槽内に閉じ込められない  
ようにふたを開かなくすることができます。

電源「入」の状態で コース を  
約4秒以上押し続ける  
•「ピー」と鳴り、設定完了

一度設定すると、解除するまで  
開けられません。  
いつでも設定/解除ができます。

### 解除

上記と同じように操作する  
•「ピピッ」と鳴り、解除完了

# 操作パネル部のはたらき

## 行程設定・残時間・予約時間などを表示します

### 残時間表示

(例) 残り20分の場合

残り  
**20**

◆99分をこえるとき  
[2H](2時間)、[3H](3時間)  
と表示し、10時間以上は  
[--]と表示します。

### 予約時間

(例) 6時間後に予約運転を終了させる場合

予 約  
点滅

**6**

### 水量表示

(例) 50Lの場合

[50L] 50L  
[37L] 37L  
[27L] 27L  
[16L] 16L

運転中は [水量] を押すと設定水量が確認できます。

### 注水すすぎ時

点滅  
[●]すすぎ



注水すすぎ時  
点灯

### 異常発生時

(例) 給水しない場合

**E1**

点滅とブザーで  
お知らせ ➡ P24

### 布量検知中

[--]

### 進行表示

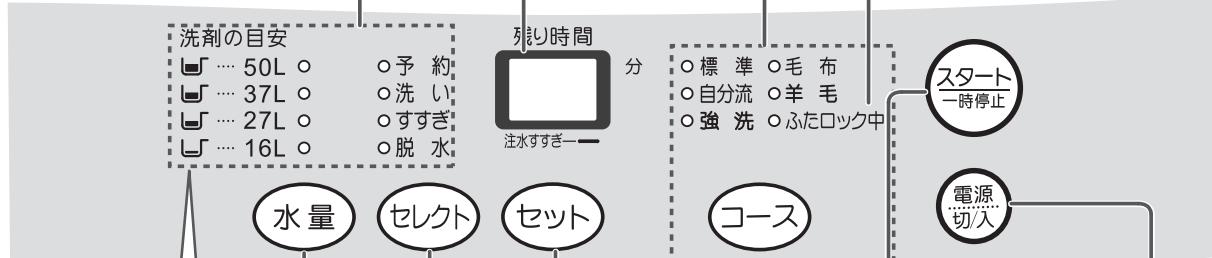
- 運転中の行程を点滅、残りの行程を点灯で表示します。  
(予約待機中は「予約」のみ点灯)

### コース

- 洗濯物の汚れや種類に応じてコースを選びます。
- 選んだコースのランプが点灯します。

### ふたロック状態の表示

点灯中…上ぶたはロックされ開きません。  
消灯中…上ぶたを開けることができます。



[■] は粉末合成洗剤  
(水30Lに対し20g)の  
スプーンを基準にして  
います。

(すりきり1杯 約47gのもの)

### 水量

- 洗濯量に応じて水量を無段階に自動設定します。16Lは自動設定しません。
- 手動で設定する場合は、4段階の水量が選べます。
- お好みの水量に切り替えられます。

### セレクト

- 「洗い～すすぎ」「脱水のみ」などのお好みの設定に ➡ P15
- 予約運転に ➡ P14
- 凍結防止(残水排水)設定に ➡ P16

### セット

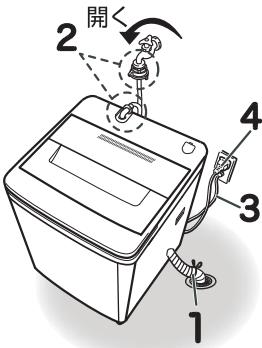
- 「洗い」「脱水」「予約」時間、「すすぎ」回数や方法の設定に

### 電源 切/入

- 電源の「入」「切」に
- オートオフ (自動的に電源が切れます)
  - 運転終了時……約5秒後  
凍結防止(残水排水)設定時は、  
10分後に切れます。 ➡ P16
  - スタートさせずに10分間  
放置したとき
- 電源を入れると記憶している  
コース内容が点灯します。

# 洗濯の前に

## 本体の準備



- 1 排水ホースを排水口に差し込む
  - 排水ホースの抜けがないか確認してください。
- 2 給水ホースをつなぎ、水栓を開ける
  - マジックつぎ手や給水ホースの接続部などから、水もれがないか確認してください。→ P22~23
- 3 アースを取り付ける → P19
- 4 電源プラグをコンセントに差し込む

## デリケートな衣類を守る 洗濯ネットの利用

洗濯ネットに入れるもの

### ■傷みやすい衣類

- ・レースのついた衣類
- ・ランジェリー
- ・ナイロンストッキング
- ・化繊のうす物 など



### ■ワイヤー入りのブラジャー

→必ず市販のネット(細かい網目)に入れる

- ワイヤーが飛び出し、本体や他の洗濯物を傷める原因になります。

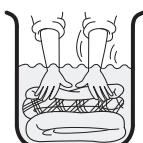


### ご注意

- ワイヤーなどの芯材が入った洗濯ネットは、使わないでください。
- ネットに衣類を詰め込みすぎないでください。

## 衣類の入れかた

- カーテンなどの大物・水に浮きやすいもの・厚手の衣類(ジーンズ・柔道着など)は、水に浮かないように均一によく押し込んでください。



- 洗濯物は入れすぎないでください。

- 水に浮きやすいものや大物から先に入れてください。

給水時に水が飛び散り床がぬれる・汚れがよく落ちない・脱水時にはみ出して衣類や本体が破損する原因になります。

## きれいに仕上げるために

### 糸くずが気になるもの → P26

- 気になる衣類は、分けて洗う。
- タオル・バスタオルとは、分けて洗う。
- 市販の糸くず防止ネットや細かい網目の洗濯ネットに入れて洗う。
- 裏返して洗う。



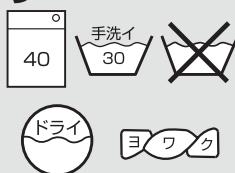
### 飾りのある衣類、起毛素材の衣類は裏返して洗う

- 衣類の傷み、毛玉を防止するためです。

### 飲料水、化粧水が付着した衣類を長時間放置しない

- まれにピンク色に変色することがあります。すぐ洗い流してください。

### 衣類の絵表示に従う



### 新しい色柄物・色落ちしやすいものは分け洗いをする

#### ■色落ち確認方法

洗剤液を含ませた白いタオルなどを目立たない部分に強く押しあて、タオルに色移りがないか確認する。



### ポケットの中に何も入っていないことを確認する

### カーテンフック、ワイシャツのプラスチッククリップなどは必ず取り除く

- 排水経路にゴミや異物が詰まったり、衣類や本体を傷め、異常音・故障の原因になります。



### ひもは結ぶ、ボタンは留める ファスナーは閉める マジックテープは止める

- 衣類や本体を傷つける恐れがあるためです。



## 衣類の絵表示(例)



40°C以下で洗濯機で洗濯ができる



40°C以下で洗濯機の弱水流で洗濯ができる



30°C以下で弱い手洗いがよい



水洗いはできない



ドライクリーニングができる



塩素系漂白剤による漂白はできない



洗濯機で脱水するときは、短時間にする



ハンガーなどに吊り干しをするのがよい



平らなところに広げて干すのがよい



日陰で平らなところに広げて干すのがよい

## 汚れがひどいものは前処理をする

部分洗い用洗剤や漂白剤を利用してください。

### しみ汚れ

- 酸素系液体漂白剤やしみ汚れ用洗剤などを塗って洗う。食べ物のしみの場合、付いたらすぐに汚れを取り除く。



### えり・そで汚れ

- そで口・えりなどの汚れは、洗剤液をつけ、ブラシなどで軽くたたいて落とす。



### 泥や砂汚れ

- 石けんや専用洗剤をつけてもみ洗いをする。
- ブラシなどで落とす。(本体の故障を防ぐため)



## 黒ずみや黄ばみを抑える

- 洗剤が少なかつたり、柔軟剤を入れすぎると黒ずみや黄ばみの原因になります。

→適正な量をお使いください。

## 記憶機能

「標準」「羊毛」「強洗」「自分流」コースは、運転したコースを自動的に記憶します。

(スタートから約30秒後に記憶)

### 次回



記憶しているコースを点灯します。



ワンタッチでスタートができます。

- 停電時や電源プラグをコンセントから抜いた場合も記憶しています。



### お知らせ

●**セレクト**を押して変更した運転内容は記憶しません。記憶させたいときは、「自分流」コースをご利用ください。

## 布量の検知(洗濯量の計測)



を押すと、自動的に洗濯量を調べ、水量を表示します。

水のない状態で、パルセーターが回転して布量検知をします。水量を参考に洗剤を入れてください。

「標準」「自分流」「強洗」「羊毛」コースで行います。

- 洗濯物がぬれていたり、初めから洗濯・脱水槽に水が入っている場合

→布量を重めに判定します。

- 水が底から約10cm以上入っている場合や「すすぎ」からスタートした場合

→布量検知をしないで、50Lに設定されます。洗濯量に応じた水量を設定してください。

- 水量16Lは、自動設定されません。

- 自動設定水量は、調節できます。→P17

# 各コースの洗濯時間

● [ ] は、標準時間を表わしています。

コース	水量	洗い	すすぎ	脱水	所要時間
標準	16L～50L	[10分] 5～12分 (高濃度クリーン洗浄 2分)	ためすすぎ 4分×2回	[5分] 1～9分	41～48分
自分流	■27L～50Lは三段階自動設定 ■16Lは手動	[10分] 1～20分 (高濃度クリーン洗浄 2分)	シャワーすすぎ 1回+ためすすぎ 4分	[5分] 1～9分	[39分]
強洗		[12分] 7～14分 (高濃度クリーン洗浄 2分)	注水すすぎ 3分×2回	[8分] 1～9分	44～51分
羊毛	27L(自動設定水量) 50～27Lに切り換え可	[6分]	ためすすぎ 1分30秒×2回	[2分] 1～3分	[31分]
毛布	50L(自動設定水量) 37Lに切り換え可	[12分]	※ 注水すすぎ 3分×2回	[8分] 1～9分	[49分]



## お知らせ

- 所要時間は、水道水圧・排水条件により変わります。  
(給水量が毎分15Lのときの目安)
- 洗濯・脱水槽内に初めから水があるとき・水量をお好みで設定したときは、所要時間が変わることがあります。
- 上表の※注水すすぎの2回目は、最初にためすすぎをします。  
(ソフト仕上剤の効果を出すため)
- シャワーすすぎ時、給水量が少なく(毎分約5L以下)、すすぎが不十分なときは、ためすすぎを1回追加します。

## すすぎについて

### ■ シャワーすすぎ



洗濯・脱水槽をゆっくり回し、給水と排水を同時に行います。

### ■ ためすすぎ



設定水量まで給水後、水をためてすすぐ

### ■ 注水すすぎ



設定水量まで給水後、注水しながらすすぐ

## 環境に配慮した使いかた

■ 標準コース・給水量毎分15L・水量50Lの場合と比較



- 風呂水を使う  
洗いの水が約50L節水できます。 ➡ P16
- 洗濯液を2度使う ➡ P16  
コース運転を2回するに比べ、約37L節水できます。
- ためすすぎをする ➡ P8・15  
注水すすぎに比べ、すすぎ1回につき約33L節水できます。

本品は洗濯量に応じて水量を無段階に自動設定します。  
洗濯物を入れ、スタートすると布量センサーがはたらき、適切な水量を設定します。



### ●まとめ洗いをする

洗濯回数が減ります。

本品は待機時消費電力(電源スイッチを切にした状態の電力)が0(ゼロ)になっています。



- 軽い汚れの場合、洗剤量をいつもの半分にする  
汗やほこりのような脂分をほとんど含まない汚れ ➡ P9

- 洗濯液を2度使う ➡ P16  
洗剤量2回分が1回分ですみます。
- 洗剤を入れすぎない

# 洗剤類の使いかた [使用量・粉石けん]

## ● 使用量

水量	洗濯量 [乾燥布] (以下)	合成洗剤						粉石けん	ソフト仕上剤	酸素系 液体漂白剤	
		粉末		液体							
		水30L に対し→	20g	25g	20mL	25mL	40mL (中性洗剤)	40g	7mL (濃縮タイプ)	20mL (一般タイプ)	20mL
50L	4.5kg	□	28g	35g	28mL	35mL	56mL	56g	10mL	28mL	28mL
37L	3.5kg	□	25g	31g	25mL	31mL	49mL	49g	9mL	25mL	25mL
27L	2.0kg	□	18g	23g	18mL	23mL	36mL	36g	6mL	18mL	18mL
16L	0.5kg	□	11g	13g	11mL	13mL	21mL	21g	4mL	11mL	11mL

●表示の目安は、1杯が約47g(水30Lに対し20g)のスプーンに合わせています。洗剤によりスプーン1杯の洗剤量が異なります。お使いの洗剤容器の「使用量の目安」に従ってください。

●洗剤は、洗濯量と汚れの程度に応じて入れてください。

- ・汚れが多い場合は、洗剤量を増やし、軽い汚れの場合は、上表の半分程度が適量です。
- ・洗剤は入れすぎないでください。すすぎが不十分になり衣類に残ります。

特に液体洗剤は、軽い汚れでは泡立ちがよくなるので入れすぎにご注意ください。

●洗濯量は、JIS(日本工業規格)規定の布地を使用した場合のものです。洗濯物の厚さ・大きさ・種類により洗濯量が変わります。布の動きが悪いときは、洗濯量や水量(多めに)を調節してください。

## 洗濯物の重さの目安



作業着上・下  
(混紡)約800g



ジーンズ  
(綿)約600g



パジャマ上・下  
(綿)約500g



バスタオル  
(綿)約300g



ワイシャツ  
(混紡)約200g



アンダーシャツ  
(綿)約130g



ブリーフ  
(綿)約50g



くつ下  
(混紡)約50g

## 粉石けん

溶け残りを防ぐため、あらかじめ溶かしてください。

- 1 水栓を開き、電源を入れ、(コース)で「標準」を選ぶ
- 2 「水量16L」「洗いのみ」に設定し、(スタート一時停止)を押す  
好み設定 → P15
- 3 給水が止まったら、粉石けんを洗濯・脱水槽に入れて上ぶたを閉め、洗剤を溶かす
- 4 電源を入れ直し、洗濯物を入れて希望のコースと水量を設定する
- 5 (スタート一時停止)を押し、上ぶたを閉める

### ■溶けにくい場合

- 1 容器に約30℃のぬるま湯(約5L)を入れる
- 2 十分かき回しながら、粉石けんを少しずつ入れる
- 3 固まったり、粒が残らないようによくかきませ、洗濯・脱水槽に入れる
- 4 洗濯物を入れ、水栓を開き、電源を入れて希望のコースと水量を設定する
- 5 (スタート一時停止)を押し、上ぶたを閉める



#### お願い

- 粉石けんは、すすぎが不十分だと洗濯物に残り、黄ばみや臭いの原因になります。  
すすぎ回数を増やし、十分にすすいでください。
- 使用量が多くすぎたり、水温が低いと完全に溶けずに衣類に残ったり、ホースや槽内に残った粉石けんが浮き上がって洗濯物を汚すことがあります。 洗濯・脱水槽 → P27
- 予約運転をするときは、粉石けんを使用しないでください。(固まる恐れ)

## 液体洗剤・液体漂白剤

### 液体洗剤

同量の水でうすめる



### 液体漂白剤

2倍の水でうすめる

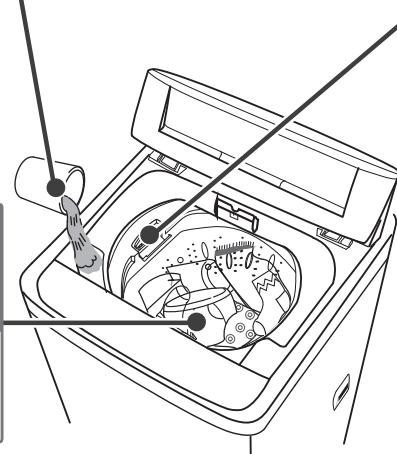


洗いの給水が始まつてから、入れてください。

- 色物には色物専用の漂白剤を使用してください。
- 塩素系の漂白剤を直接洗濯・脱水槽に入れたり、洗濯物にかけないでください。(変色・布破れの原因)また、予約運転時には使わないでください。

### 粉末洗剤 粉末漂白剤

洗濯・脱水槽に直接入れる



## ソフト仕上剤

水量表示に合わせて、洗濯前に入れてください。  
(最終のすすぎで自動的に投入されます)

- 1 ソフト剤注入口のカバーに指をかけて開ける

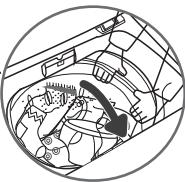


- 2 ソフト仕上剤を入れる

■濃縮タイプは、2倍の水でうすめ、よく混ぜてから入れてください。(固まる恐れ)



■入れにくい位置にあるときは、洗濯・脱水槽を手で右方向(時計回り)に回してください。重く感じることもありますが右方向へ回すと位置は変わります。



- 3 カバーを閉める

●開けたまま運転すると給水時に水が入り、ソフト仕上剤が流れ出る場合があります。

- ソフト仕上剤は、入れすぎないでください。(衣類の黒ずみの原因)
- 脱水中に一時停止はしないでください。ソフト仕上剤の投入時期が早まり、有効にはたらきません。
- ソフト仕上剤を入れた後、長時間(12時間以上)放置しないでください。固まる場合があります。

## のりづけ

洗濯できる量 1.5kg以下

### ● 使用できるのり

洗濯機用の化学合成のり(酢酸ビニール系)

- 上記以外のものは、故障の原因になる恐れがあるので使わないでください。

- 1 水栓を開き、洗濯物を入れる

- 2 電源を入れる

- 3 コースで「羊毛」を選び、「水量27L」「洗い6分」「脱水1分」を設定する お好み設定 → P15

- 4 スタートする

- 5 給水が止まつたら洗濯のりを入れ、上ぶたを閉める

- 6 運転終了後、できるだけ早く衣類を取り出す

### お願い

- のりづけした洗濯物は、衣類乾燥機で乾かさないでください。(乾燥機フィルターの目詰まりの原因)
- 糸くずフィルターにたまつた糸くずを取り除いてください。のりで固まって取れにくくなります。

のりづけ後は、洗濯・脱水槽を洗ってください。  
のりが残っていると、故障の原因になります。

- 1 洗濯物を取り出した後、コースで「羊毛」を選び、「水量50L」「洗い6分」「脱水1分」を設定する お好み設定 → P15

- 2 スタートを押し、上ぶたを閉める

## 標準コース

綿素材の下着など、普段着を洗濯したいときに

## 羊毛コース

汚れの少ない衣類を手早く洗濯したいときに

## 強洗コース

がんこな汚れを洗濯したいときに

洗濯できる量 4.5 kg 以下

「標準」「強洗」「自分流」コースは、洗いの始めに高濃度クリーン洗浄をします。(羊毛コースを除く)

高濃度の洗濯液を衣類にしみ込ませるため、少ない水量からくはんを始め、水を追加しながら洗います。



高濃度洗剤液をつくる  
バルセーター裏の羽根で洗剤を早く溶かし、高濃度洗剤液をつくる

浸透させて芯から白く  
きめ細かい高濃度の泡が衣類を包み込んで汚れを芯から洗い落とす

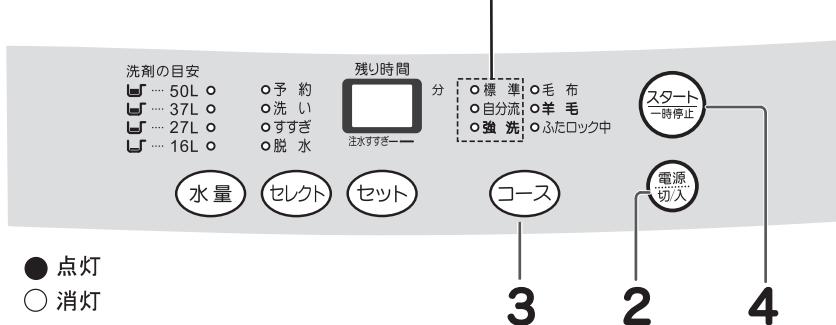


■「羊毛」コースは、洗濯時間の短縮と洗濯液を衣類に吸収するために少ない水量から「洗い」「すすぎ」が始まります。

■洗剤は、入れすぎないようにしてください。泡が立ちすぎたり、すすぎが不十分になります。

■運転終了後は、衣類のシワ付きや色移りを防ぐため、すぐに干しましょう。

選んだコースのランプが点灯します。



### 1 水栓を開き、洗濯物を入れる

### 2 電源を入れる

### 3 コース 「標準」または「羊毛」または「強洗」を選ぶ

### 4 布量検知 スタートする ●検知中の表示

- 水のない状態で、バルセーターが回転します。(布量の検知→P7)

### 5 検知後、水量・洗濯内容を表示

### 6 給水が始まってから洗剤を入れ、上ぶたを閉める

- 洗剤の溶け残り防止のため、洗濯・脱水槽内に均等に入れてください。
- 漂白剤・ソフト仕上剤→P10

(上ぶたが開いていると洗い運転は始まりません)

ブザーが鳴ったら、運転終了

- 水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

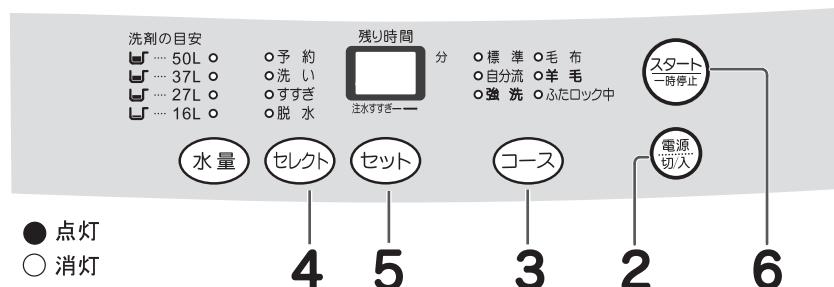
# 自分流の運転内容を記憶させる

## 自分流コース

自分の好みの運転内容を、記憶させることができます。

次からは「自分流」を選ぶと前回に設定した運転内容で運転することができます。

- 「水量」「予約」は記憶しません。



洗濯できる量 4.5 kg 以下



### お知らせ

- 洗いの始めに  
「高濃度クリーン洗浄」をします。  
→P11
- スタートして30秒後に前回の  
内容は消え、新しい内容を記憶  
します。
- 停電時や電源プラグをコンセン  
トから抜いた場合も記憶してい  
ます。
- 洗濯時間の短縮と洗濯液を衣類  
に吸収するために少ない水量  
から「洗い」が始まります。
- 布量検知により、所要時間表示  
が変わることがあります。

### ◆購入時の設定

洗 い : 10分  
すすぎ : シャワーすぎ 1回+  
ためすすぎ 4分  
脱 水 : 5分

1 水栓を開き、洗濯物を入れる

2 電源を入れる

3 コース 「自分流」を選ぶ

- 記憶内容を表示します。変更がなければ 6 へ

4 セレクト 変えたい行程を選ぶ

5 セット お好みの時間やすすぎ回数・方法を  
設定する

6 スタートする

- 水なしで運転し、水量を表示。(布量の検知→P7)

7 給水が始まってから  
洗剤を入れ、上ぶたを閉める

- 洗剤の溶け残り防止のため、槽内に均等に  
入れてください。
- 漂白剤・ソフト仕上剤 →P10

(上ぶたが開いていると洗い運転は始まりません)

ブザーが鳴ったら、運転終了

- 水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

## 毛布コース

必ず、市販の大物洗い用洗濯ネットをご使用ください。

ネットに入れずに洗濯をすると、洗濯物が洗濯・脱水槽からはみ出し、擦れて洗濯物や本体を傷めたり、水が飛び散る恐れがあります。

### 洗える毛布

取り扱い絵表示が

- の ●アクリルまたはポリエステル100%のマイヤー・タフト毛布  
シングルサイズ以下  
140cm×200cm以下  
質量 3.0kg以下

●綿毛布

- シングルサイズ  
140cm×200cm以下  
質量 1.5kg以下(3枚まで)

- 電気毛布・純毛の毛布は洗わないでください。  
洗える電気毛布は、その説明書に従ってください。

### 洗えるふとん

取り扱い絵表示が

- の ●中わたがポリエステル100%の夏掛けふとん  
大きさ 140cm×190cm以下  
中わた質量 0.7kg以下  
総質量 1.4kg以下

●洗濯機で洗えると記載されている羽毛掛けふとん

- 大きさ 150cm×210cm以下  
総質量 1.8kg以下

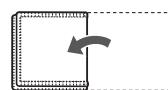
#### 洗濯できる量(kg以下)

毛 布	………	3 kg
綿毛布	………	4.5 kg
夏掛けふとん	………	1.4 kg
羽毛掛けふとん	………	1.8 kg

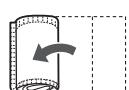
### 洗濯前の準備

- ゴミや糸くずは、取り除いておきます。  
■綿毛布を2枚以上入れる場合は、重ねて折りたたんでください。

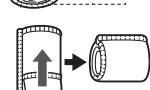
1 長い方を2つ折りにする



2 同じ方向に3つ折りにする



3 卷く



4 フチのある方を下に洗濯ネットに入れ、ひもを固く結んでリボン結びにする



### お知らせ

- 水量は、50Lに自動設定されます。  
37Lにのみ、変更することができます。  
■洗剤は、入れすぎないようにしてください。  
入れすぎると溶けずに残ることがあります。  
■夏掛けふとん・羽毛掛けふとんは、水に浮かないように均一によく押し込んでください。

### 洗濯が終わったら

取り出すときは

洗濯ネットのひもをほどき、毛布などの中心部を持って引き出す



1 水栓を開き、電源を入れる

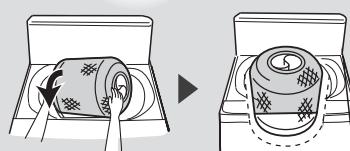
2 コース 「毛布」を選ぶ

3 洗剤を入れる



溶け残しをなくすため、約30°Cのぬるま湯(約5L)に入れ、よく溶かしてください。  
溶かさずに入れると、白く残ることがあります。  
●漂白剤・ソフト仕上剤 → P10

4 洗濯ネットに入れた毛布などを入れ、上ぶたを閉める



洗濯ネットの口側が上になるように横向きにして、洗濯・脱水槽内で縦向きにすると入れやすくなります。

5 スタートする

(上ぶたが開いていると洗い運転は始まりません)

ブザーが鳴ったら、運転終了

●水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

乾燥は

風通しのよい日陰で自然乾燥、または毛布乾燥機能のある衣類乾燥機で乾燥する

- 毛布は生乾きのうちにブラッシングするときれいに仕上がります。  
■掛けふとん・綿毛布の乾燥は、その取り扱い表示に従ってください。



# 予約運転をする

運転の終了時間を予約できます。

予約待機中の  
運転内容の確認

スタート1分以降に  
セットを押す

予約の取り消し 電源を切る

予約の変更 一度電源を切って  
設定し直す

## お願い

- 水栓からの水もれがないか確認してください。
- 衣類のシワ付き防止のため、運転終了後、すぐに干してください。
- 色移りしやすい衣類は、一緒に洗濯しないでください。

### 粉石けん

固まる場合があるので、使わないでください。

### ソフト仕上剤

予約時は長時間放置するため、衣類の上にこぼした場合は、水洗いしてください。  
落ちないときは、洗剤をつけてみ洗いしてください。（シミ・色落ち・傷みの原因）

### 漂白剤

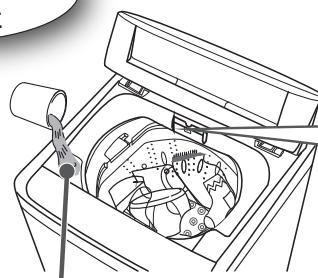
酸素系をお使いください。塩素系は、変色や損傷の原因になるため、使わないでください。



### お知らせ

- 電源プラグをコンセントから抜いたり、停電した場合、予約は取り消されます。
- 終了時間は、水道水圧、排水条件などにより変わります。

### 予約時の洗剤の入れかた



### 液体洗剤

「液体洗剤・漂白剤注入口」に入れる

溶けやすくするため、洗剤と同量の  
水でうすめる



### 1 水栓を開き、洗濯物を入れる

■「毛布」コースでは、洗剤・洗濯物の入れかたが異なります。→P13

### 2 電源切入 電源を入れる

### 3 コース 使用するコースを選ぶ

### 4 セレクト 「予約」を選ぶ

### 5 セット 今から何時間後に終了させたいか時間を選ぶ

■最長12時間後までを1時間単位で予約できます。

(例)  
2時間後に終了させる場合



### 6 スタートする

### 7 洗剤を入れ、上ぶたを閉める

- 漂白剤・ソフト仕上剤 → P10
- 約1分後、予約ランプ以外が消灯します。

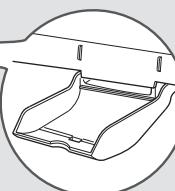
（上ぶたが開いていると洗い運転は始まりません）

ブザーが鳴ったら、運転終了

- 水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

### 粉末合成洗剤

#### コンパクトタイプ



「洗剤投入トレイ」に  
平らに入れる

- トレイがぬれていると洗剤がこびりついて、あらかじめ乾いた布でふいてください。
- トレイの奥のすみには洗剤を入れないでください。洗剤が残ることがあります。
- 洗剤を入れた後、トレイは閉めないでください。（洗剤がこぼれます）

#### コンパクトタイプ以外

洗濯物に触れないよう  
に白物のハンカチなど  
に軽く包み、洗濯・脱水槽の周辺部に押し込む  
(洗剤に含まれている蛍光  
剤による衣類の変色を防ぐためです)



# 運転内容をお好みで変更する【脱水のみなど】

「洗い」「脱水」時間や「すすぎ」回数などを **セレクト** と **セット** で設定して、お好みに合った洗濯ができます。

## 1 水栓を開き、洗濯物を入れる

- 「毛布」コースでは、[P13](#)
- 洗剤・洗濯物の入れかたが異なります。

## 2 電源を入れる

## 3 コース 使用するコースを選ぶ

## 4 セレクト 変えたいた工程を選ぶ

## 5 セット お好みの時間・すすぎ回数・方法を設定する

## 6 スタート 一時停止 スタートする

## 7 必要に応じて洗剤を入れ、上ぶたを閉める

- 上ぶたが開いているため、「ピピッ」と鳴り、**E4** を表示します。上ぶたを閉めると運転を始めます。
- 漂白剤・ソフト仕上剤 [P10](#)

**ブザーが鳴ったら、運転終了**

●水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。



### お知らせ

- 「標準」「自分流」「羊毛」「強洗」コースですすぎから開始すると、布量検知をしないで水量は50Lになります。必要に応じて変更してください。
- 予約時は、自動運転のすすぎ内容になります。[P8](#)

### 洗い時間

洗うもの(例)	
6分 ↓ 9分	普通の汚れもの
10分 ↓ 20分	汚れのひどいもの
0	洗いなし
1分 ↓ 5分	汚れの少ないもの

### すすぎ方法

すすぎ方法			
	「標準」「羊毛」「強洗」	「自分流」	「毛布」
2回	ため2回	シャワーすすぎ1回+ため1回	ため2回
注水2回	注水2回	シャワーすすぎ1回+注水1回	注水2回
3回	ため3回	ため3回	ため3回
注水3回	注水3回	注水3回	注水3回
0	すすぎなし	すすぎなし	すすぎなし
1回	ため1回	ため1回	ため1回
注水1回	注水1回	注水1回	注水1回

### 脱水時間

脱水するもの(例)	
4分 ↓ 7分	普通の洗濯物
8分 ↓ 9分	厚物
0	脱水なし
1分	シワになりやすいもの
2分 ↓ 3分	化織毛

# こんなとき

凍結の恐れがある

## 防止方法

### その1 凍結防止(残水排水)設定をする

残っている水を運転終了9分後に、自動で排水します。  
設定すると運転終了してから10分間 **Ud** を表示します。

電源を入れ、**セレクト** を6秒以上押し続ける

●「ピー」と鳴り、設定完了

解除

上記と同じように操作する

●「ピピッ」と鳴り、解除完了

### その2 給水ホース・排水ホースの水を十分に抜く

1 水栓を閉め、電源を入れる

2 **(コース)** で「標準」を選び、**(水量)** で「50L」に設定する

3 **(スタート一時停止)** を押し、すぐに電源を切る

■給水ホース内の水を抜き、水圧を下げるためです。

4 給水ホースの水栓側をはずし、バケツなどで  
ホースから出る水を受ける



5 電源を入れ、**(コース)** で「標準」を選び、  
「脱水のみ」を約1分間運転し、残水を  
排水する

## 凍結したとき…

1 接続部を熱い蒸しタオルで包む



2 水栓を閉め、給水ホースを  
はずし、お湯(50°C未満)につける



3 約2Lのお湯(50°C未満)を洗濯・脱水槽に入れ、  
約10分間放置する

4 給水ホースをつないで水栓を開き、次の内容を  
確認する

- 手でパルセーターが回せるか
- 運転して給水・排水するか

## 洗濯液を2度使いたい

下記手順と好み設定→P15をご覧ください。

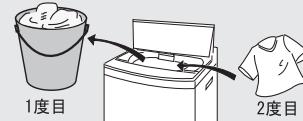
1度目は汚れの少ないもので、汚れの  
ひどいものは2度目に洗いましょう。

1 1度目の洗濯物を入れ、好みの  
コースで「洗いのみ」運転をする



2 洗濯物を取り出し、2度目の洗濯  
物を入れる

■必要に応じて洗剤を追加します。



3 好みのコースと水量を設定し、  
「洗い→すすぎ→脱水」をする

4 2度目の洗濯物を取り出し、1度  
目の洗濯物を戻す

■洗濯物は均等に入れてください。



5 好みのコースと水量を設定し、  
「すすぎ→脱水」運転をする

## 風呂の残り湯を使いたい

1 水栓を開き、**(電源切入)** を押す

2 洗濯物と洗剤を入れ、好みの  
コースと水量を設定する

3 洗濯物がつかるまで  
残り湯(50°C未満)を  
洗濯・脱水槽からこぼ  
れないように入れる



4 上ぶたを閉め、**(スタート一時停止)** を押す

■設定水量まで残り湯が入っていない  
場合は、水道水を追加します。

# こんなとき

## 自動設定水量を調節したい

自動で決まる水量を、少なめや多めに調節することができます。

1 セレクトと水量を押しながら電源切入を押す

2 水量を押して調節する

- 押す度に調節する  
水量が変わります。



3 電源切入を押し、電源を切る

## 終了ブザー音を消したい

電源「入」の状態でスタート一時停止を約4秒間押し続ける

- 「ピー」と鳴り、設定が完了

再び鳴らしたいとき

上記と同じように操作する

- 「ピピッ」と鳴り、設定が完了

## 運転途中で変更したい

●水量は、すぎ終了まで変更できます。

●「洗い」ランプが点滅中は、セレクトを押すと注水すぎ・ためすすぎの切り換えができます。

その他の変更は、電源を切り、再び「入」にしてから設定し直してください。

# お手入れ

## 本体

### 水滴・糸くず・汚れがついたら…

水、またはぬるま湯で湿らせたやわらかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、台所用中性洗剤か石けん水をお使いください。

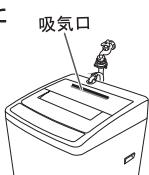


- 住宅用合成洗剤(マジックリンなど)・クレンザー・ベンジン・シンナーなどで拭かないでください。プラスチック部品を傷めます。

- 化学ぞうきんは、その注意書に従ってください。

### ◆洗濯・脱水槽の上部、上ぶた

ぬらしたぞうきんで拭いてください。



## 給水口

### 水の出が悪くなったら…

**ご注意** 井戸水などは不純物が多くゴミがたまりやすいため、早めにお手入れをしてください。

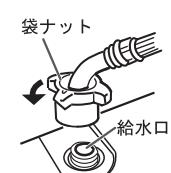
1 電源切入を閉め、電源を入れる

2 コース「標準」を選ぶ

3 水量「50L」に設定する

4 スタートする ホース内の水圧を下げる  
水の飛び散りを防ぐため

5 電源切入を切る



6 袋ナットをゆるめてはずし、  
ゴミを歯ブラシなどで取り除く

必要に応じて

## 洗濯・脱水槽

石けんカス

長期間の使用で、石けんカス(黒いもやもやとしたもの)が発生し、洗濯物につくことがあります。洗剤の入れすぎや溶かし不足の状態で洗濯を繰り返すと石けんカスを発生させ衣類を汚す原因になります。

- 湿気の多い場所では上ぶたを開け、できるだけ内部の水分を蒸発させて石けんカスのカビなどを防ぎましょう。

さび

赤さびの混じった水やヘアピンなど、さびやすいものを入れたり、長時間水を入れたまま放置するとさびの原因になります。

さびがついたら

やわらかい布かスポンジに、市販のクリームクレンザーをつけてさびをふき取ってください。

- 金属たわしなどは、洗濯・脱水槽を傷めるので使わないでください。

# お手入れ

ときどき

## 洗剤投入トレイ

柔らかい布でふき取る

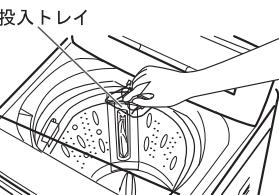
- こびりつきがひどいときは、ホースで水をかけながらふき取ってください。

### ご注意

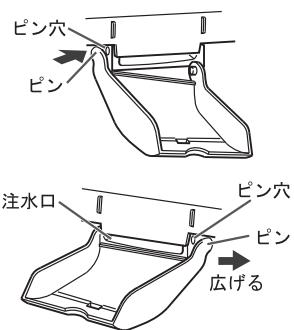
トレイを手前に倒した状態で無理な力を加えないでください。(はずれる恐れ)

### はずれたとき

- 1 洗剤投入トレイの左側のピンを注水口のピン穴に差し込む



- 2 右側のピン部を広げながら、ピンをピン穴に差し込む



### お願い

トレイを使用しないときは、必ず閉じた状態にしてください。

毎回

## 糸くずフィルター

ネットが目詰まりするとゴミが取れにくくなります。

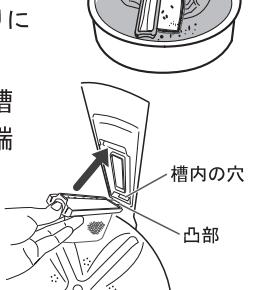
- 1 上端爪部を下に押さえながら、上側を手前に引いてはずす



- 2 ネットを裏返して糸くずを取り除いてから、水中でネットを洗う

- 裏返したネットは、元どおりにしてください。

- 3 糸くずフィルターの凸部を槽内の穴に差し込んでから上端爪部を押し込む



### お知らせ

- 糸くずフィルターは、必ず取り付けて洗濯してください。(衣類が傷む恐れ)
- 消耗部品のため、ネットが破れたときは、お買い上げの販売店でお買い求めください。

# 据え付け

- 据え付け前に、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

- 据え付け後は、必ず試運転をしてください。● ● ●

### 警 告

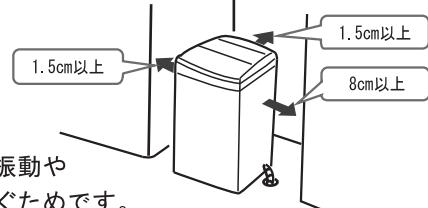


浴室や風雨にさらされる場所、湿気の多い場所には据え付けない  
(感電・火災・故障・変形の原因)



定格15A以上のコンセントを  
単独で使う  
(火災・感電の原因)

本体は排水ホース側が壁から8cm以上、  
反対側および裏側は壁から1.5cm以上  
離す



異常な振動や  
音を防ぐためです。

しっかりした水平な床に据え付ける

傾斜した床や弱い床、不安定な台の上は  
振動や騒音が大きくなります。



洗濯機トレーの使用をおすすめします

気温と水温の差が大きいと本体の内側に  
結露(露つき)が生じます。  
この結露や万一の水はねで  
床面をぬらすことを防止する  
ためです。

■ 次のような場所には、設置しないで  
ください。

- 直射日光のあたる場所  
(プラスチック部品の変色・変形の原因)
- 冬期に凍結の恐れのある場所 ➡ P16
- 平らでない床・弱い床・凸凹な床の上  
振動や騒音が大きくなります。床が弱い  
ときは販売店にご相談ください。
- 高い置台の上  
(底部と床の隙間から、お子さまなどが  
手を入れ、けがをする原因)
- 包装用台座は、据え付け台として使わない  
(本体故障の原因)

## 試運転

水もれ・給水・排水・異常振動・異常音の確認をしてください

- 1  電源を入れる
- 2  コース 「標準」を選ぶ
- 3  スタートする
- 4 約5分間洗い運転をし、水もれ・本体エラー表示などの異常がないことを確認する
- 5  電源を切る
- 6  再度、電源を入れる
- 7  コース 「標準」を選ぶ
- 8  セレクト 「脱水」を選ぶ
- 9  セット 「7分」を選ぶ
- 10  スタートする  
■排水してから脱水をします。
- 11 異常音・振動がなく本体エラー表示などの異常がないことを確認する
- 12  電源を切る
- 13 水栓を閉じる

## アース (アース工事は有料です)

### 警 告

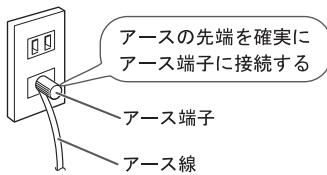


万一の感電防止のため、アース線を必ず確実に取り付ける

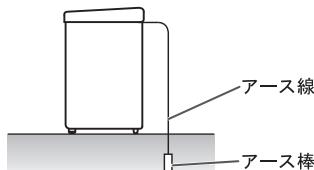
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。また、漏電ブレーカーの取り付けをおすすめします。(詳しくはお買い上げの販売店、または電気工事店にご相談ください)

- アースの付けはずしは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 設置場所の変更や転居の際にも、必ずアースを取り付けてください。

### コンセントにアース端子がある場合



### コンセントにアース端子がない場合



法令により電気工事士によるD種接地工事が必要です。  
お買い上げの販売店にご相談ください。

**お願い** ガス管、電話線や避雷針、水道管には接続しないでください。  
(法令などで禁止されています)

## 衣類乾燥機(除湿型)と組み合わせる

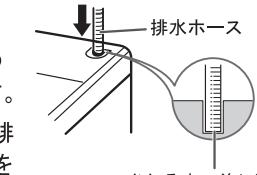
- 1 本体上面の「除湿型衣類乾燥機用排水口」の後ろの穴に指を入れ、引き上げて、フタを取り除く

- 固い場合は、無理をしないでドライバーなどで上にこじ上げてください。
- フタを取り除いた切り跡だけがをしないように注意してください。



- 2 乾燥機の排水ホースが使用中に抜けないようにしっかりと排水口の奥まで差し込む

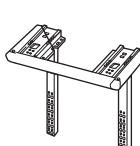
- 差し込みが不十分だと乾燥機の水蒸気が結露することがあります。
- ホースがたるむ場合は、ホースが排水口の奥より浮き上がらないことを確認したうえで切ってください。



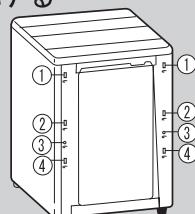
乾燥機の排水ホースと洗濯機の連結方法は、乾燥機の取扱説明書の「据え付け」の項をご参照ください。



### 衣類乾燥機専用ユニットを取り付ける



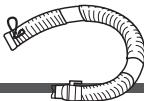
洗濯機の背面に直接取り付けてください。



- ①②の穴、左右各2カ所に固定金具(A)(B)を取り付けてください。
- 水栓などにより、高く設置する必要がある場合は、①②の穴を使用し、専用ユニットの支柱の位置を調節してください。

◆詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

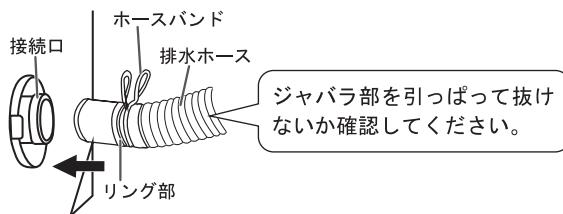
# 据え付け 排水ホースの取り付け



**ご注意** 排水ホースは正しく取り付けないと、使用中に抜けて、水もれの原因になります。

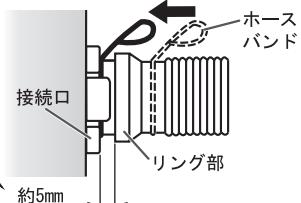
## 1 排水ホースを接続口に「コツン」と当たるまで差し込む

**お願い** ホースの抜け防止用の凸部が接続口にあるので強く押し込んでください。



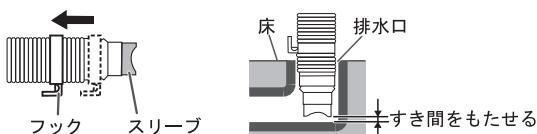
## 2 ホースバンドをリング部より本体側いっぱいに移動して止める

接続口とホースのリング部とのすき間は、約5mmになっているか確認してください。



## 3 フックをずらし、排水口に差し込む

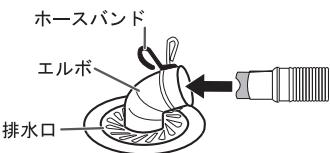
- スリーブは、ホース先端がふさがれて排水が悪くならないようにすき間をもたせるものです。必ず取り付けてご使用ください。



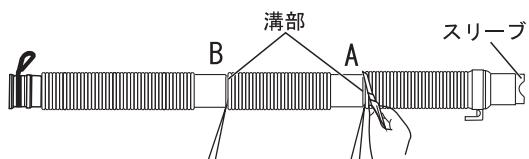
排水時の水の力や振動などで動く場合があるため、排水口にしっかりと差し込み、抜け出さないように固定してください。

## 排水口がエルボの場合

排水ホース先端部をエルボにしっかり差し込み、ホースバンドで確実に固定する。



## 排水ホースが長すぎる場合

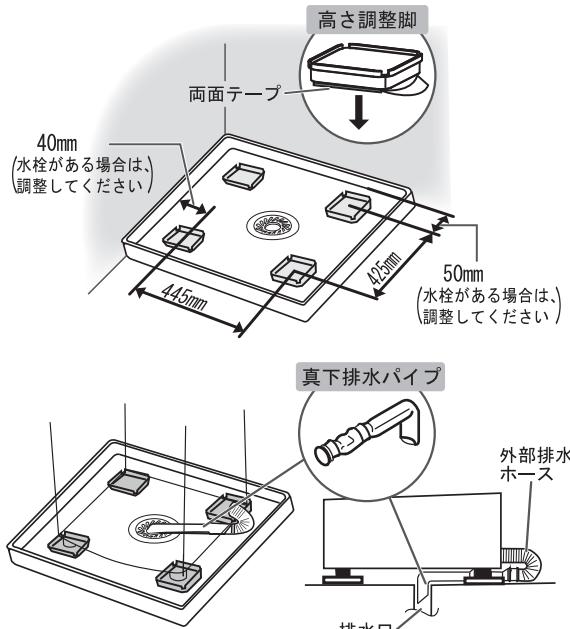


本体と排水口の距離に応じて、溝部2ヶ所A・Bのうち、どちらかの溝部を切って先端にスリーブをはめ直してください。

## 排水口が本体の下にくる場合

真下排水パイプと高さ調整脚をお買い求めください。

- 高さ調整脚の両面テープのシールをはがし、床面、または防水パンに固定してください。
- 接着する面の水・ほこりなどはきれいにふき取ってください。



■取り付け方法は、真下排水パイプの説明書に従ってください。

## ご注意

- 必ず高さ調整脚を敷いてください。洗濯機が真下排水パイプに乗り上げて異常振動したり、破れて水もれする恐れがあります。

- 内部排水ホースは直接排水口に入れないでください。(ホースの破裂・水もれ・異常音の原因)



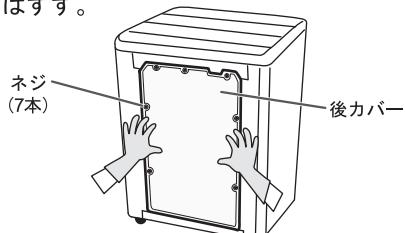
# 排水ホースの付け換え

排水ホースは、左側に付け換えることができます。

- ご注意**
- 電源プラグをコンセントから抜き、付け換え作業を確実に行ってください。正しく取り付けないと、水もれの原因になります。
  - 付属の新しいホースを使用して下さい。古いホースは水漏れにつながるおそれがある有り使用しないで下さい。

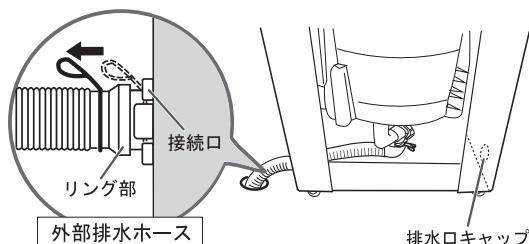
## 1 後カバーをはずす

- ①後カバーの取り付けネジ(6本)をはずす。
- ②下部のツメをはずして、後カバーを上へ持ち上げてはずす。

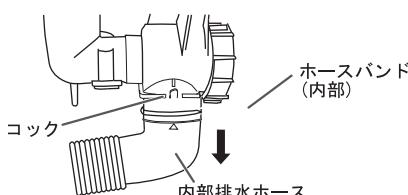


## 2 本体左側の排水口キャップと外部排水ホースをはずす

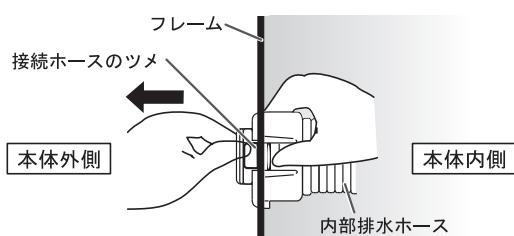
- 外部排水ホースは、ホースバンドをリング部の方向にずらしてからはずす。



## 3 内部のホースバンドをずらし、コックから内部排水ホースを引き抜く ホースバンドを内部排水ホースから抜き取る



## 4 接続ホースのツメ上部を強くつまみ、内部排水ホースをフレームの外側に抜き出す

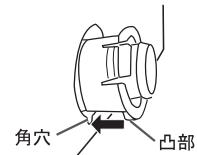


## ！警告

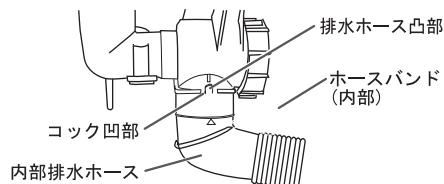
- けがを防ぐために、付け換え作業は必ず手袋をしてください。

## 5 本体左側の穴に外側から内部排水ホースを通す

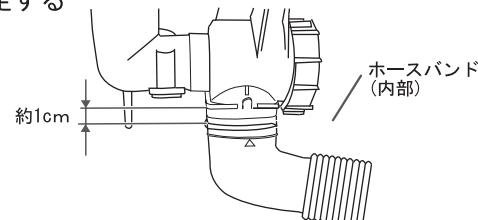
## 6 接続口の凸部をフレームの角穴に合わせて、接続口のツメをフレームに確実にはめ込む



## 7 ホースバンドを内部排水ホースに通し、コック凹部(合せ印切り込み部)と内部排水ホース凸部(合せ印・A)が合うように内部排水ホースを差し込む



## 8 ホースバンドを図の位置に確実に合わせ、固定する



## 9 排水口キャップを本体右側に取り付ける

## 10 後カバーを取り付ける

- ①下側を本体の溝にはめてから、後カバーのネジ穴の位置を合わせる。
- ②ネジ(6本)を取り付ける。

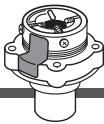
## 11 接続口に排水ホースを取り付ける → P20

- 正しく取り付けないと排水ホースが抜け、水もれの原因になります。

# 据え付け

- マジックつぎ手・給水ホースは、付属品または当社専用のものを使用してください。  
確実に取り付けないと、水もれの原因になります。
- 給水ホースを接続後、水栓を開き、マジックつぎ手や給水口より水もれがないか確認してください。

## マジックつぎ手



### 水栓形状

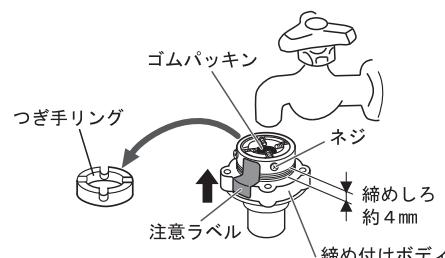
水栓が合わないときは、お買い上げの販売店、水道工事店にご相談ください。



### 取り付けかた

#### 1 ネジ(4本)をゆるめ、マジックつぎ手のゴムパッキンと水栓の先端を垂直に押し当てる

- 水栓の径が大きいときは、つぎ手リングをはずしてください。
- 注意ラベルは、締め付けボディをゆるめた状態で貼っています。水栓にマジックつぎ手をネジで締め付けるまでは、はがさないでください。

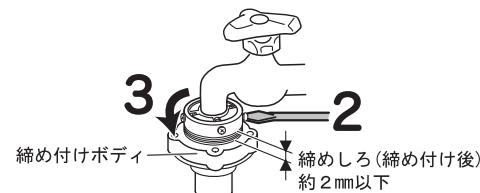


#### 2 水栓の先端がマジックつぎ手の中心になるようにネジを均等にしっかりと締め付ける

- 壁側になるネジは前もって調整しておくと便利です。

#### 3 注意ラベルをはがし、締め付けボディを矢印方向へ回して、締めしろが約2mm以下になるまで強く締め付ける

- 強く締め付けないと水もれする恐れがあります。



### ご注意

- 取り付けかた・転居の際の取り換え・長期間の使用でゆるみが生じたなどで、水もれする場合  
➡ 1図のように締めしろを約4mmにゆるめてから、取り付け直してください。
- パッキンに蛇口の形が付いていたり、劣化している場合  
➡ マジックつぎ手を取り換えてください。  
転居や取り付け直したときは、特にご注意ください。
- 今までお使いのマジックつぎ手があっても、必ず新品と取り換えてください。

※給水栓ジョイント・分岐水栓は、蛇口の形態により取り付けできないものがあります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

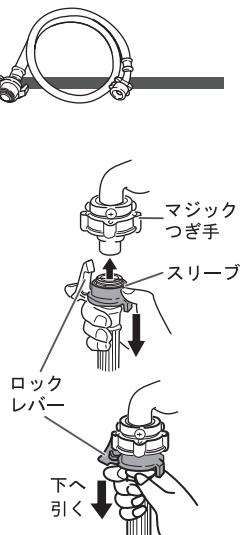
# 給水ホース

## 取り付けかた

### 水栓側

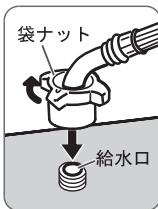
- スリーブを引き下げたままでマジックつぎ手に差し込む
- スリーブをはなし、「パチン」と音がするまで差し込む
- ロックレバーがかかるているのを確認した後、ホースを下へ引き、完全に取り付けができるか確認する

ロックレバーと本体が接触しない位置で取り付けてください。(水もれの恐れ)



### 本体側

袋ナットを給水口にあてがい、傾きのないように確実に締め付ける

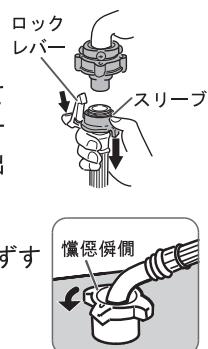


### ご注意

転居などで取り付け直したときは、特にご注意ください。確実に締め付けてください。

## はずしかた

- 水栓を閉め、電源を入れ、コースで「標準」を選ぶ
- 水量で「42L」に設定し、**スタート**を押す  
■ホース内の水を抜き、水圧を下げて水の飛び散りを防ぐためです。
- 電源切入 電源を切る
- 水栓側** ロックレバーを押し、スリーブを引き下げてホースをはずし、バケツなどでホースから出る水を受ける  
**本体側** 袋ナットをゆるめてはずす



## ホースの延長

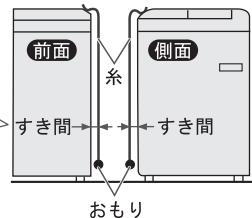
お買い上げの販売店にご相談のうえ、給水延長ホースをお買い求めください。

## 水平に設置する(調整足)

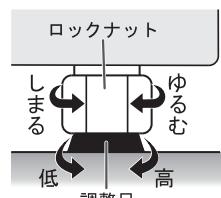
### 1 水準器で水平度を調整する

■水準器がない場合は、おもり(5円玉など)を付けた糸を図のように下げる、前面と側面の水平度を確認してください。

糸と本体のすき間が上下同じなら水平

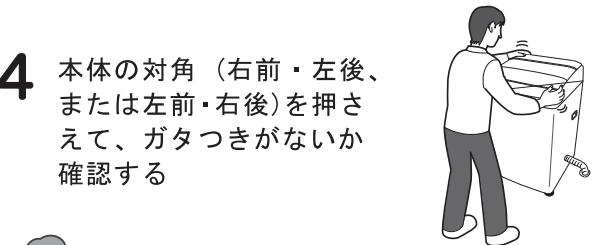


### 2 水平でないときは、前面右足のロックナットをゆるめ、調整足を回して調整する



### 3 調整後、ロックナットを回して、しっかりと締め付ける

### 4 本体の対角(右前・左後、または左前・右後)を押さえ、ガタつきがないか確認する



### お知らせ

水平に設置できていないと本体の移動・異常振動・騒音・故障の原因となります。必ず調整足で水平になるよう調整してください。

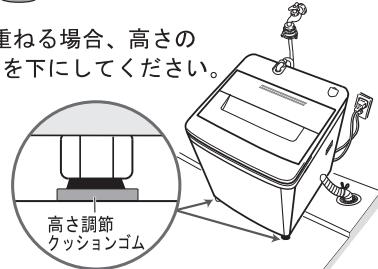
### 傾斜した床面・凹凸のある床面に設置する場合

高さ調節ゴムをお買い求めのうえ、水平になるよう調整してください。



2個セットになっています。  
切り離してご使用ください。  
1枚で5mm、2枚を重ねて  
1cmの高さ調整ができます。

2枚を重ねる場合、高さの低い方を下にしてください。



# こんな表示がでたら

表示	調べるところ	処置
E1 給水しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 水栓を開いていますか。</li> <li>■ 給水口の網にゴミなどが詰まっていますか。 ➡ P17</li> <li>■ 凍結していませんか。 ➡ P16</li> <li>■ 断水していませんか。</li> <li>■ 井戸水を使っていますか。 ➡ P17</li> </ul>	
E2 排水しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 排水ホースの確認 ➡ P20 <ul style="list-style-type: none"> <li>・倒し忘れたり、つぶれていませんか。</li> <li>・途中15cm以上、高くなっていますか。</li> <li>・排水口がふさがれていますか。</li> </ul> </li> <li>■ 排水口(フィルターやトラップ部)に糸くずが詰まっていますか。</li> </ul>	<p>点検後、  を2回押す (運転を再開します)</p>
E3 脱水しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 洗濯物が片寄っていませんか。</li> <li>■ 本体が傾いたり、がたついていませんか。 ➡ P23</li> </ul>	
E4 運転しない (一時停止している)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 上ぶたが開いていませんか。</li> </ul>	<p>上ぶたを閉める</p>
ED 運転後表示する	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 凍結防止(残水排水)設定をしていませんか。 ➡ P16</li> </ul>	
EA	<p>制御部品の点検や修理に調整が必要です。 電源プラグをコンセントから抜き、水栓を閉めて早めにお買い上げの販売店に連絡し、 点検・修理を依頼してください。</p>	
EC		

修理を依頼する前に  
初期化をお試しください

外部からの雑音や妨害ノイズの影響を受けて、正常に動かない場合があります。  
初期化をしてください。購入時の設定に戻ります。自動設定水量の調節のみ、  
解除しない限りは戻りません。 ➡ P17

## 初期化の方法

- 1  電源を入れる
- 2  スタートする
- 3  電源を切る

### ●再度電源を入れて、 動作を確認してください。

尚、異常があるときは、内部をさわらずに  
電源プラグをコンセントから抜き、水栓を  
閉めて早めにお買い上げの販売店にご連絡く  
ださい。

**お願い** 故障など、洗濯途中の洗濯物を長期間放置すると色落ち、色移りすることがあります。  
→ 洗濯物は手洗いなどをしてください。

# 故障かな？

下記の症状は故障ではありません。

	症 状	原 因
本体	運転しない	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでいますか。</li><li>■ 電源が入っていますか。</li><li>■ 「スタート/一時停止」を押しましたか。</li><li>■ 予約中ではないですか。</li><li>■ 上ぶたが閉まっていますか。</li><li>■ 水栓を開いていますか。</li><li>■ 停電していませんか。</li><li>■ ご家庭のヒューズ・ブレーカーが切れていませんか。</li></ul>
	運転中や電源スイッチを切っても操作パネル部が熱を持っている	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 部品の放熱作用によるものです。</li></ul>
洗い・すすぎ	給水前にパルセーターが回転する	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 洗濯量を検知しているためです。 布量の検知 ➡ P7</li></ul>
	少ない水量でパルセーターが回転する	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 「標準」「強洗」「自分流」コースで、洗いの前に高濃度クリーン洗浄を行います。 ➡ P11</li></ul>
脱水	途中で給水する	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 水量や洗濯物の状態を検知し、うまく洗濯できるように補給水機能がはたらいたためです。<ul style="list-style-type: none"><li>▪ 洗濯物を後から追加した。</li><li>▪ 水量が減り、それを自動的に補う機能がはたらいた。</li><li>▪ 洗濯物の布回りをよくする機能がはたらいた。</li></ul></li><li>■ 「標準」「強洗」「自分流」コースで高濃度クリーン洗浄中は、水を追加しながら洗います。 ➡ P11</li></ul>
	注水すすぎなのに排水ホースから水が流れ出ていない	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 水圧が低いときや設定水量が低いときは、排水しないことがあります。</li></ul>
水量	注水すすぎなのにためすすぎになる	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 給水量が多い場合は、洗濯・脱水槽からあふれるのを防ぐため、ためすすぎになります。</li></ul>
	すすぎからスタートすると水が給水されない	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 排水→脱水してから、すすぎの給水を始めます。</li></ul>
時間	洗濯物の量に対する水量の表示がおかしい	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 洗剤量が多すぎたり、排水ホースの途中が高くなるなど排水状態が悪く、うまく脱水できない(脱水の回転が上がらない)ときは、ためすすぎを追加します。</li></ul>
	同じ量を洗っているのに水量表示が違うことがある	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 脱水を効果的に行うために、徐々に回転を上げる運転をします。</li></ul>
	すすぎ前の排水・脱水時間が長い	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 洗濯物が片寄ると、片寄りを修正するためにすすぎを行い、再度脱水をします。</li></ul>
	洗濯時間が長い	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 水量は、洗濯量で決まります。 化繊など軽いものが多いときに少なかつたり、洗濯物が最初からぬれないと多く表示することがありますが、故障ではありません。</li></ul>
	残時間表示が途中で変わる	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 布量の検知 ➡ P7      自動設定水量を調節したい ➡ P17</li></ul>
		<ul style="list-style-type: none"><li>■ 泡立ちをおさえ、すすぎ性能を良くするため、すすぎ前の排水・脱水を長くしています。</li><li>■ 所要時間は、給水量毎分15Lで計算しています。15L以下であれば、長くなります。</li><li>■ あらかじめ水が入っているときや水量をお好みで設定したときは、所要時間が変わることがあります。</li><li>■ 所要時間は、水道水圧・排水・脱水状態により変わることがあります。</li></ul>

# 故障かな？

下記の症状は故障ではありません。

	症 状	原 因
音	運転終了後に 「ジー」と音がする	●凍結防止(残水排水)設定をしていませんか。排水バルブの水抜き音です。⇒P16
	洗濯・脱水槽をゆらすと 「シャー」「チャップチャップ」と音がする	●脱水の振動を抑えるために入れてある液体の音です。
臭い	異臭がする	<p>●排水口にたまつた汚れの臭いが逆流することがあります。集合住宅などで排水口に臭気防止用トラップがない場合は、本体・洗濯物に臭いがつくことがあります。</p> <p>処置 ●定期的に排水口を掃除してください。 ●臭気防止用トラップがない場合は、トラップを設置してください。</p>
	据え付け時や初めて使用するとき 排水ホース接続口から水が出る	●洗濯・脱水槽内に付着している石けんカス・黒カビなどで臭いが発生する場合があります。
その他	衣類が黄変する	●水道水のサビ、粉石けんや洗剤の残り、色移りなどにより、乾燥後に黄変することがあります。塩素系漂白剤・還元型漂白剤をご使用ください。
	糸くずの付着が気になる ⇒P6	<p>●すぎ回数を増やしたり、注水すすぎをおすすめします。 ●水量を多めに設定してください。 ●糸くずフィルターを掃除してください。</p>
	洗濯の途中なのに 運転が止まってしまった	<p>●上ぶたが閉まっていますか。 ●脱水時に洗濯・脱水槽の中で洗濯物が片寄っていませんか。 ●お好み設定方法を間違えていませんか。 ●槽洗浄中ではありませんか。(11時間つけおきをします)</p> <p>以上の原因でないときは、こんな表示がでたら ⇒P24 をご確認のうえ、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>

# 保証とアフターサービス

## ●保証書（別途添付しております）

保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をご確認のうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。なお、食品の補償など、製品修理以外の責は容赦ください。

## ●保証期間

保証期間はお買い上げ日から1年です。

## ●修理を依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」取扱説明書にそってお調べください。それでも異常があるときは、直ちにご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店に修理をご依頼してください。

※お客様ご自身での分解・修理は危険です。修理には特殊な技術が必要です。

## ●保証期間中の修理

保証書の記載内容により、お買い上げの販売店に修理をご依頼してください。

## ●保証期間経過後の修理

修理可能の場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。  
詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

## ●補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打切後9年です。

## ●アフターサービスについてご不明の場合

修理のご相談やご不明点は、お買い上げの販売店、または当社にお問い合わせください。  
また、ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、当社にお問い合わせください。

## ●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。  
技術料は、診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了ときの点検などの作業にかかる費用です。  
部品代は、修理に使用した部品及び補助材料です。

# 消費生活用製品安全法・安全表示制度に基づく本体表示について

## 〈本体への表示内容〉

※経年劣化により危害の発生が高まる恐れがあることを注意喚起するため  
に電気用品安全法で義務付けられた右記の表示を本体に行っています。

## 〈設計上の標準使用期間とは〉

- 運転時間や温湿度など、右記の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用ができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものではありません。

- 設置状況や環境、使用頻度が右記の条件と異なる場合、または、業務用など本来の使用目的以外でご使用された場合は、7年より短い期間で故障したり、経年劣化による発火・けがなどの事故に至る恐れがあります。



### 【設計上の標準使用期間】7年

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けがなどの事故に至る恐れがあります。

標準的な使用条件	区分	項目	条件
環境条件	電圧	100V	
	周波数	50Hz/60Hz	
	温度	20°C	
	湿度	65%	
負荷条件	設置条件	P18～P23の記載内容による標準設置	
	負荷	4.5kg	
	コース	標準コース	
	給水圧力	0.03～0.8MPa	
使用時間 及び回数	給湯・給水	20°C±15°C	
	1日の平均使用回数	1.5回	
	1回の使用時間	34分	
	1年間の使用日数	365日	

# 仕様

仕様は製品改良のため、予告なく変更することがあります。

種類	全自動電気洗濯機	製品質量	30kg
洗濯方式	かくはん洗い	標準水量	50L
外形寸法	幅565×奥行534×高さ835(mm)	標準使用水量	110L (シャワーすぎすぎ+ためすすぎ1回)
標準洗濯容量	4.5kg (乾燥時の布質量)	定格消費電力	350/390W (50/60Hz)
標準脱水容量		運転音	(洗い時) 45dB (脱水時) 55dB
電源	100V・50Hz—60Hz共用	水道水圧	0.03～0.8MPa (0.3～8kgf/cm²)

- 品番の( )内記号は、色記号です。
- 待機時消費電力(電源スイッチを切にした状態の電力)は、0ゼロです。
- 標準洗濯・脱水容量は、JIS(日本工業規格)で規定された布地で乾燥状態の場合です。
- 運転音は、(社)日本電機工業会基準の測定値です。

この製品は法律で表示を義務づけられた特定の化学物質<sup>【注1】</sup>を含有しておりません<sup>【注2】</sup>。

(JIS C 0950の電気・電子製品の特定の化学物質の含有表示方法に従って表示しております)

【注1】「鉛及びその化合物」「水銀及びその化合物」「カドミウム及びその化合物」「六価クロム化合物」「ポリブロモビフェニル」及び「ポリブロモジフェニルエーテル」の6種類の化学物質

【注2】対象の化学物質の含有率が基準以下であることを意味します。また、除外項目は対象としておりません。

廃棄時に  
ご注意願います

家電リサイクル法では、お客さまがご使用済みの洗濯機を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検

長年ご使用の洗濯機の点検を！



こんな症状は  
ありませんか

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- 洗濯・脱水槽が止まりにくい。
- 水もれがある。(ホース、マジックつぎ手)
- こげくさい臭いや運転中に異常な音や振動がある。
- 本体にさわるとビリビリ電気を感じる。
- その他の異常や故障がある。



このような症状のときは、故障や事故の防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜き、水栓を閉めて必ず販売店に点検をご相談ください。

ワインコード株式会社  
〒465-0025

愛知県名古屋市名東区上社2丁目186番地 新東名ビル101  
TEL:050-3609-2666 FAX:050-3609-2668

品 番	RHT-045W	
お買い上げ年月日	年	月 日
お買い上げ店名	電話 ( )	-
もよりのお客さま ご相談窓口	電話 ( )	-